

文部大臣賞 3年連続で須坂園芸高校

入選 18、佳作 10、奨学賞 25 作品決定

の応募が着実に増えていることによるもので、全国高等学校造園教育研究協議会のご努力と全国の高校の先生方の熱意に深く敬意を表します。

もう一つ特筆したい点は、大学生の部の応募大学や一般の部の応募者が大き

究協議会の鎌田、土井両先生の周到な準備のもとに1月26日の朝から夕方まで慎重かつ熱心に行われました。入選された方々のデザインには住宅園や街区公園、屋上緑化、実習作品のいずれも「このよくな空間にしたい」という想いが

れました。今回めでたく選された方々も含めて、募者全員のなお一層の研鑽を期待して、審査報告とさせていただきます。

地課緑地環境推進室長
今回の応募作品は、昨年
を60点上回り、コンクールを
が造園の教育機関等に着手
に浸透していると思われ
す。また、入賞や佳作に選
ばれた作品は、自由な発想
と、基礎的な技術の積上げ
に裏打ちされた優れた表現

住家庭園計画図

全国高等学校造園教育研究協議会長賞 宮 (高校生の部・1)

第34回全国造園デザインコンクール表彰式は、佐藤四郎日造園食が主催者あいさつ。次いで、添野龍雄文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官、舟引敏明国土交通省都市・地域整備局公園緑地課緑地環境推進室長が祝辭。11人の審査委員を代表して藤井英一郎千葉大学園芸学部教授が審査報告。その後各賞の授与式と記念撮影が行われ、懇談会では、各審査委員からの講評をはじめ、文部科学大臣賞を受賞した長野県須坂園芸高等学校の西澤和平校長、西澤国之教諭をはじめ、国土交通大臣賞、学会、日造協、コンサル協会長賞の受賞者が、コンテストや応募作についての取り組み方などについて懇談した。

際に形にする「実習作品部門」への応募が増加したことはうれしいことです。

、つ、頑の一部
しい作品に仕上がつてお
ました。次代の造園界を
う人材が着実に育つてい
ことを頼もしく思うこと
に、ご指導されている先
方に敬意を表します。特に

た平井茜さんの作品は、区公園に求められる機能正確に把握したうえで、シンプルながら大胆なデザインやユニークなアイデア的確に表現されたことを

高 イ シ シ 街
化対策等都市環境の改善に
係る要請が高まる中、造園
を学ぶ多くの皆さんにささ
に研鑽を積まれ、緑豊かな
潤いのある社会づくりに貢
献されることを願つてやみ

園デザインの中で考案された長野県須坂園芸高等学校の小林司さんの作品でした。今後とも、豊かな発想のもと、良質なランドスケープの保全・再生・創出に



国土交通大臣賞 平井 茜 兵庫県立淡路景観園芸学校 (大学生の部・街区公園部門)



日本造園学会長賞 小林 司 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)



大造園建設業協会長賞 小松 広樹 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・街区公園部門)



(社)ランドスケープコンサルタンツ協会長賞 韋 宇欣 千葉大学

■島田正文委員
園学会副会長) (社)日本造
ません。

入選 内田 奈穂子 室蘭工業大学
(大学生の部・住宅庭園部門)入選 森本 静一 森本造園
(一般の部・住宅庭園部門)

住宅庭園計画図

入選 高橋 文音 群馬県立勢多農林高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 川西 祐史 筑波大学
(大学生の部・住公共的空間部門)入選 佐藤 博子 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 町田 桜子 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 西川 愛 滋賀県立八日市南高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 小松 みづき 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 坂田 昂亮 滋賀県立八日市南高等学校
(高校生の部・街区公園部門)入選 秋山 未来 群馬県立勢多農林高等学校
(高校生の部・街区公園部門)

(審査作品部)

入選 谷 和寿 滋賀県立八日市南高等学校
(実習作品部門)第34回 全国造園
デザインコンクール

審査講評

向けて、計画から管理運営に至る各種の技術的提案をともなった多数の応募が期待される。

■ 鎌田幸生委員 (全国高等
学校造園教育研究協議会理
事長)

第34回を迎えた今回のコンクールでは、高校生の部では、前回よりも40点多く出品がされました。先生方の熱心なご指導のもと、生徒達が意欲的に取り組んだ結果と、感謝申し上げます。

高校生の作品全体では、

住宅庭園、実習作品のレベ

ルが高く審査に多くの時間

を要しました。街区公園で

は、街区公園のあるべき姿

を確認すべき作品が多く見

られました。指導者、参加

者共に、応募要項を良く読

んで頂き、記載すべき事項が漏れていれば、表記間違

いが無いようお願いいたし

ます。

今年度より、主催者のご

努力で、NHKが後援団体

になって頂けました。全国

規模でのコンクールに発展

いたしますように今回に引

き続き、応募作品、応募校

数が増えることを期待して

おります。

■ 土金徳治委員 (全国高等
学校造園教育研究協議会副
理事長)

今回は過去最多の応募数

となり、数多くの力作が応

募されました。高校生の部

でも33校、346点の作品

が応募され、特に住宅庭園、

街区公園部門で、各30点の

応募増となりました。各学

校の先生方のご協力に深く

感謝いたします。

ただ、残念なことに入賞

校は昨年と変わりません

が、同様の顔ぶれとなり残

ります。

選にされた作品の中に

も、表現力など素晴らしい

物が多く見受けられるの

で、入賞作品や時代の流れ

などを参考にして、新しい

アイデアを盛り込んで再挑

戦していただければと思いま

す。

■ 枝吉茂種委員 (社) ランド
スケープコンサルタンツ協
会会長委員長

一般の部ですが、まだま

だ応募者が少なく、主催者

が、高校生と比べ着想に優

れたものが少なく感じまし

た。

ともに、デザイン的に優れ

た作品は多々ありました

が、高校生と比べ着想に優

れたものが少なく感じまし

た。

大学生の部ですが3部門

ともに、デザイン的に優れ

た作品は多々ありました

が、高校生と比べ着想に優

れたものが少なく感じまし

た。

■ 石渡榮一委員 (社) ランド
スケープコンサルタンツ協会未
来委員会技術開発部会長

一般の部ですが、まだま

だ応募者が少なく、主催者

が、高校生と比べ着想に優

れたものが少なく感じまし

た。

が、造園を学ぶ人達にとつ

て、技術を磨く上でたいへ

ん効果的な役割を果たして

いるとの思いを強くしまし

た。

■ 石渡榮一委員 (社) ランド
スケープコンサルタンツ協会未
来委員会技術開発部会長

一般の部ですが、まだま

だ応募者が少なく、主催者

が、高校生と比べ着想に優

れたものが少なく感じまし

た。

が、造園を学ぶ人達にとつ

て、技術を磨く上でたいへ

ん効果的な役割を果たして

いるとの思いを強くしまし

た。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐藤四郎委員 (社) 日本造
園建設業協会会長

今年も多くの優秀な作品

の応募がございました。

特に昨年度に比べると、

60点以上も、応募数が増え

ています。

■ 佐

